

令和5年3月14日  
神奈川県剣道連盟

## 特別国民体育大会剣道競技神奈川県予選会 成年男子・成年女子 実施要項

1. 主 催 : 神奈川県剣道連盟  
主 管 : 平塚市剣道連盟
2. 日 時 : 令和5年5月21日(日) 受付9:00~9:30 開会式10:00  
※受付終了後、竹刀検量を実施します。
3. 会 場 : 平塚総合体育館 平塚市大原1-1
4. 参加資格 :
  - (1) 神奈川県剣道連盟の登録会員で、下記(ア)、(イ)、(ウ)のいずれかに該当する者。
    - (ア) 居住地を示す現住所が神奈川である者。
      - ①神奈川県内に当該年の4月30日以前から住んでいて ②なおかつ、4月30日以前から神奈川県に住民票があること。
      - ③さらに4月30日以前から本大会終了時まで引き続き、この2つの条件を満たしていること。
    - (イ) 勤務地が神奈川である者。

当該年の4月30日以前から本大会終了時まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、現に主たる勤務実態を有する会社等の所在地が神奈川であること。
    - (ウ) ふるさと選手制度を活用する者。

「ふるさと選手制度」は、卒業小学校、卒業中学校または、卒業高等学校のいずれかの所在地が神奈川であること。予選会参加前に手続きを終えていること。

※ふるさと選手に該当する者（神奈川県内の小学校、中学校、又は高等学校を卒業し、現在県外在住（県外に住民登録）の大学生、又は社会人）は、日本スポーツ協会への登録が必要となりますので、神奈川県剣道連盟へお問い合わせください。
  - (2) 本予選会に参加した者は、他の都道府県の予選会に参加することはできない。
  - (3) 年齢基準は令和5年4月1日現在

※ 国体参加資格の詳細は下記の日本スポーツ協会のHPを参照ください。  
<https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid191.html>
5. 資格基準 :
  - (1) 成年男子
    - 先鋒 : 平成10年4月2日以降~平成17年4月1日までに生まれた者
    - 次鋒 : 昭和63年4月2日以降~平成10年4月1日までに生まれた者
    - 中堅 : 昭和53年4月2日以降~昭和63年4月1日までに生まれた者
    - 副将 : 昭和43年4月2日以降~昭和53年4月1日までに生まれた者
    - 大将 : 昭和43年4月1日以前に生まれた者の中から県剣道連盟が推薦する
  - (2) 成年女子
    - 先鋒 : 平成5年4月2日以降~平成17年4月1日までに生まれた者
    - 中堅 : 昭和58年4月2日以降~平成5年4月1日までに生まれた者
    - 大将 : 昭和58年4月1日以前に生まれた者で、日本スポーツ協会指導者制度に基づく公認剣道コーチ1、公認剣道コーチ2のいずれかの資格を有する者

6. 試合・審判規則および試合方法：

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則、および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン(新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法)に記載の試合方法による。
- (2) 試合方法は、トーナメント戦またはリーグ戦とする。
- (3) 試合の組合せは、試合当日、出場選手による抽選により決定する。
- (4) 試合は3本勝負、試合時間は成年男子・女子共、5分とする。
  - ・トーナメント戦の場合、試合時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行い、先に一本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで行い、延長3回につき5分の休息をとる。
  - ・リーグ戦の場合、時間内に勝敗が決まらない場合は引分けとし、勝ち数、分け数、取得本数の順により勝者を決定する。同数の場合は、1本勝負により勝者を決定する。試合時間は3分区切りで行い、延長3回につき5分の休息をとる。

※ 垂には**所属支部名入りの名札**を必ず付けてください。

\* **面マスク、シールド**の着用については全剣連の方針に従ってください。

7. 剣道用具の取り扱いについて

予選会における、剣道用具の取り扱いについては、安全性・公平性の観点から以下のとおりとする。

- (1) 竹刀については次の事項を遵守すること。
  - 竹刀の長さ(全長・先革長)、重さ、太さ(先革先端対辺直径値および先端より8cmのちくとう部対角直径値)は、表1、表2 および図のとおりとする。
  - ピース(四つ割り竹)の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したもののはの使用は認めない。
- (2) 小手については次の事項を遵守すること。
  - 小手は、こぶしと前腕(肘から手首の最長部)の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。
  - 小手ぶとん部のえぐり(クリ)の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である。
- (3) 面については次の事項を遵守すること。
  - 面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。
- (4) 剣道着については次の事項を遵守すること。
  - 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。(構えたときに肘関節が隠れること)

表1 竹刀の基準 (一刀の場合)

		長 さ ( 全 長 )	重 さ	太 さ	
				先端部最小直径	ちくとう最小直径
男 性	120センチメートル以下		510グラム以上	26ミリメートル以上	21ミリメートル以上
女 性			440グラム以上	25ミリメートル以上	20ミリメートル以上

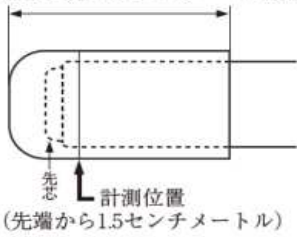
表2 竹刀の基準 (二刀の場合)

		長 さ ( 全 長 )	重 さ	太 さ	
				先端部最小直径	ちくとう最小直径
男 性	大 刀	114センチメートル以下	440グラム以上	25ミリメートル以上	20ミリメートル以上
	小 刀		280～300グラム	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上
女 性	大 刀	62センチメートル以下	400グラム以上	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上
	小 刀		250～280グラム	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上

図 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上

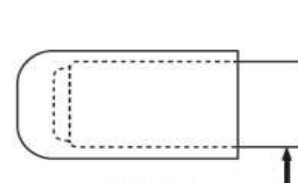


計測位置  
(先端から1.5センチメートル)

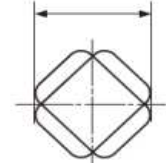


計測位置  
(対辺直径)

<ちくとうの最小直径値の計測方法>



計測位置  
(先端から8センチメートル)



計測位置  
(対角直径)

8. 安全対策：出場者は、健康管理に留意し、事故防止につとめること。

9. 参加料：1,000円

10. 申込締切日：令和5年4月14日（金）

参加料を申込書に添えて、現金書留等で各支部一括でお願いします。

参加者がいない場合も、申込書に「なし」と記入しFAX等で提出して下さい。

11. 注意事項 以下に該当する場合は参加できません。

(ア) 基礎疾患のある者

※基礎疾患のある者とは、「糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方など」をいう

※これらの者が理由あって参加する場合は、主治医の承認を得るものとする

(イ) 発熱のある者(個人差があるが、一般的には37.5度以上ある者をいう)

(ウ) 咳・咽頭痛など風邪の様な症状がある者、その他体調がよくない者

(エ) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

(オ) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

12. その他

(1) 大会写真などをHP、報道機関等へ公表させていただく場合がありますのでご了承ください。

(2) 個人情報保護の観点から、**動画等の撮影は禁止**します。

以上

申込書記入上の注意

4. 参加資格の(ア)、(イ)、(ウ)のいずれかを必ず記入して下さい。

日本スポーツ協会指導者制度に基づく公認剣道コーチ1、または、公認剣道コーチ2の資格保有者は登録番号を必ず記入して下さい。  
(成年女子大将の部の参加資格は、公認剣道コーチ1、または、公認剣道コーチ2の資格保有者のみです)

特別国民体育大会剣道競技神奈川県予選会 申込書 (成年女子の部)

会場 平塚総合体育館  
予選会日時 令和5年5月21日(日) 9:00受付 10:00開会  
申込締切日 令和5年4月14日(金)  
参加費:1,000円/人

申込書は令和5年4月1日現在

年齢基準 R5.4.1

支部 会費 番号	参加資格 (ア)、(イ)、(ウ) のいずれ かを記入	出場部門 (先鋒・ 中堅・ 大将)	氏 名	フリガナ	段位	称号	生年月日	年齢	住 所	電話番号	職業	指導者資格保 有者は登録番 号を記入
1												
2												
3												
4												
5												

参加希望者がいない場合も下の枠に「なし」と記入し提出して下さい。↓